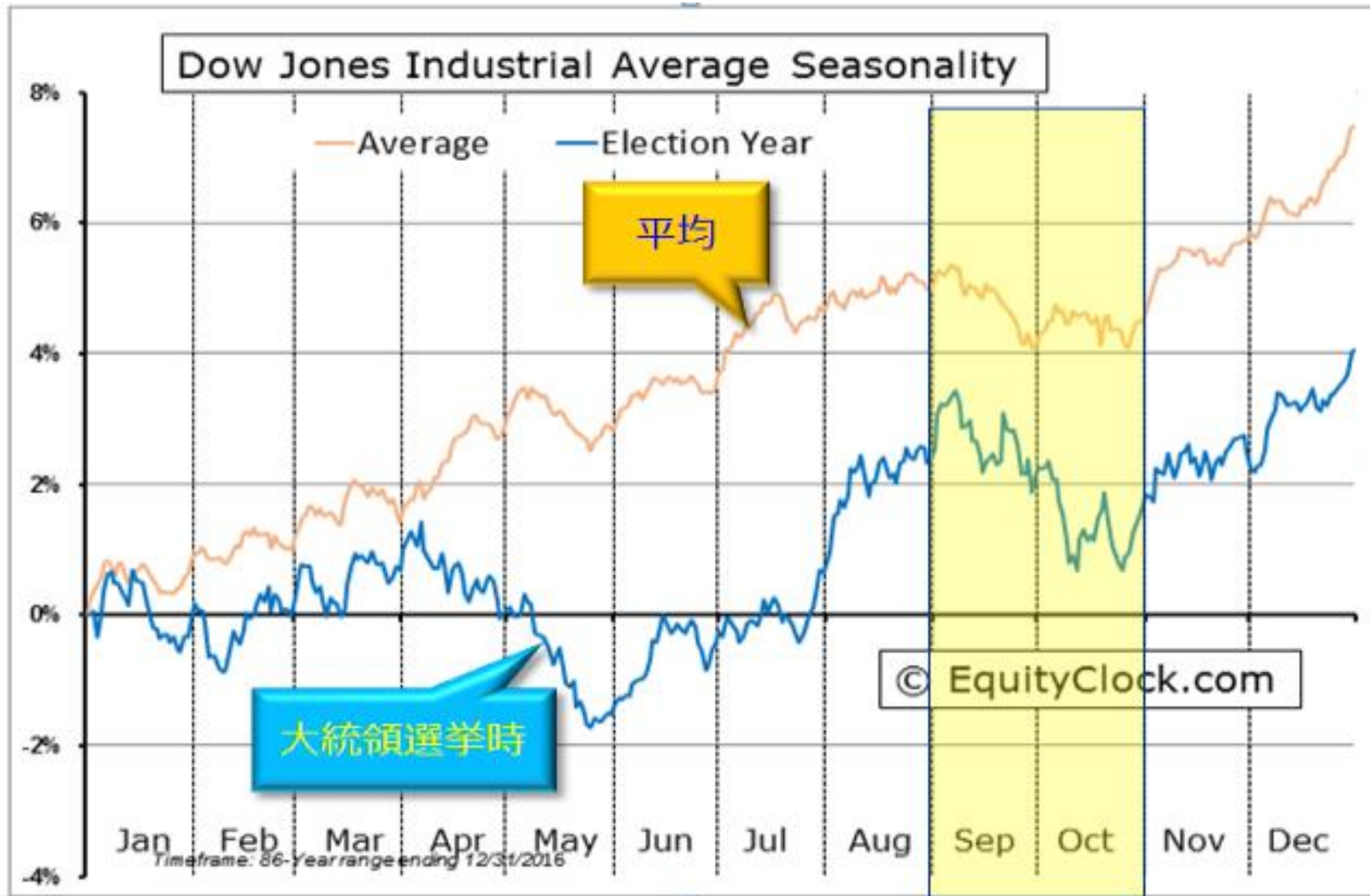
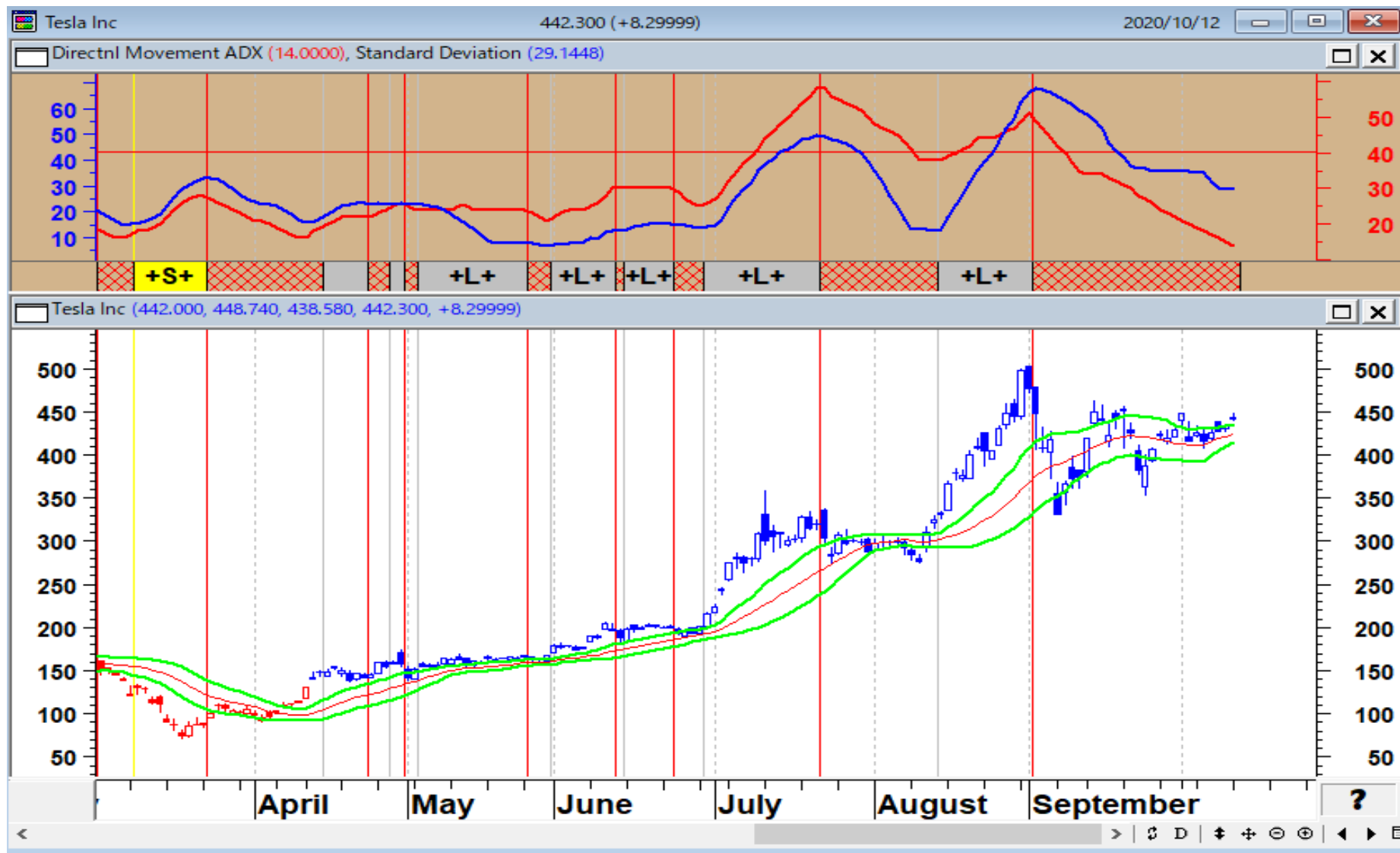


# 米大統領選挙年のサイクル



出所：エクイティクロック

# テスラ（日足）バブルの先行指標



# 木材先物（日足・週足・月足）株価の先行指標？



出所：パンローリングカスタムチャート・石原順インディケーター

# ハイテク株に 高まる不安、 バイデン増税 案が直撃か - WSJ

バイデン氏の増税案により、IT、通信サービス、一般消費財セクターでは2桁台の減益が見込まれる。アップルやマイクロソフト、グーグル親会社のアルファベット、フェイスブック、アマゾン・ドット・コムが含まれる。

米司法省が独占禁止法（反トラスト法）違反で、米インターネット検索最大手のGoogleを提訴する見通しだと、米主要メディアが28日までに報じた。同省はGoogleが検索サービスで優越的な地位を利用し、市場競争を阻害していると判断。

提訴すれば1990年代後半の米Microsoftに対する訴訟以来、巨大企業の独禁法違反を問う大型法廷闘争となる。

「GAFAは大丈夫か！？富の偏在という株式市場と社会の歪み・ラリーの日経平均予測」石原順（「マーケットの最前線」岩井コスモ証券）

4社は過去10年間で数百社を買収しており、この大量の買収によってデジタル市場で独占的な支配力を享受していると指摘。企業分割を含む規制強化を求めたものである。





- 今、ウォール街の株の運用者たちからは、「どっちが大統領になっても株は買いた！」
- 大統領が決まれば、人気取りに好都合なコロナ禍を利用した財政出動の法案が提出されるだろう。また、FRBも議会もどんどん金融緩和をやるだろう。
- われわれはまだ不況の最中におり、パンデミックが続く限り、株は買いた」という強気の声が聞かれるという。
- ただし、「大統領がいつ決まるか？」が問題で、それまでは不確実性の高い乱高下相場が続くというのが筆者の見立てである。

# 連銀のバランスシートとS&P500の推移



**米国経済は政府支出  
（主に非生産的な無償  
の給付あるいは無益な  
戦争）とFRBの膨れ  
上がるバランスシートに  
完全に依存するようにな  
るだろう。**

出所：ゼロヘッジ

# DDTG (デイビー・デイトレーダー・グローバル=ポートノイ (ツイッターで人気のデイトレーダー) が主宰するアカウント) の【ロビンフッターの教義】

## DDTG の売買規則



### 「成功を呼ぶ“4つ”の教義」

1. 株は上がるしかない
2. 買いか売りが迷ったら規則1をみよ
3. あまりにたくさんの株を抱えることは決してない
4. なぜ、あまりにたくさんの株を抱えられないのか？ 規則1をみよ

出所：マーク・ファーバー博士の月刊マーケットレポート (パンローリング)

# S&P500の推移とオンライン取引量 (EトレードとTDアメリトレード)の推移



Source: Sentiment Trader (Brokers: E-Trade&Ameritrade)



出所：ゼロヘッジ



## 「クジラどころか、イルカですらない」、 ソフトバンクGのミスラ氏（10月13日 ブルームバーグ）

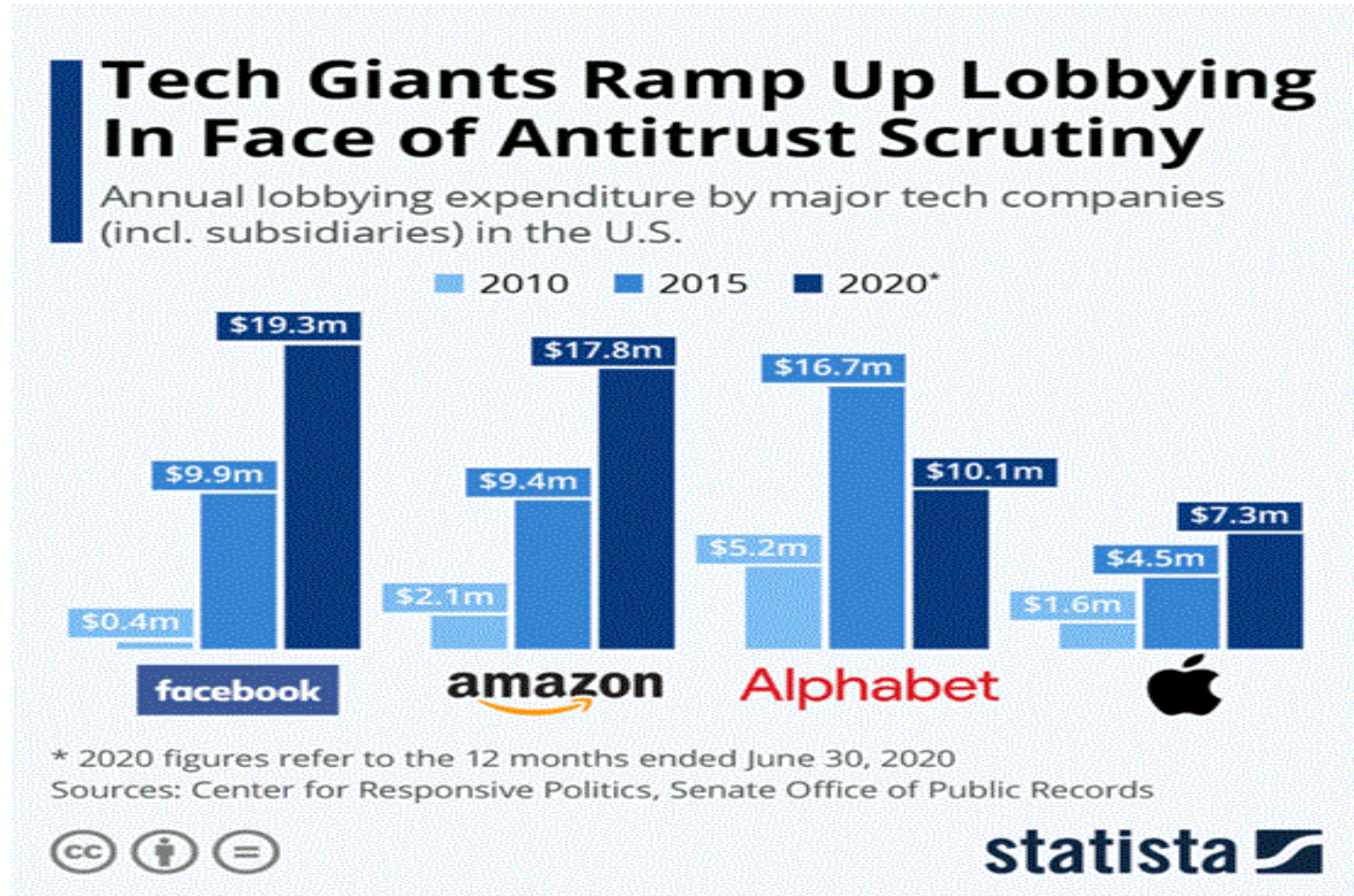
ソフトバンクグループの幹部ラジーブ・ミスラ氏は、同社がオプション取引で米国のテクノロジー関連株を急上昇させたとの報道について、どんな投資家も単独ではそのような影響力は持ち得ないと反論した。

ビジョン・ファンドの責任者であるミスラ氏がミルケン研究所のオンライン国際会議でブルームバーグの取材に対し語った。

ソフトバンクGは過去6カ月間で何百億ドル（何兆円）もの資産を売却し、その後より積極的に上場有価証券に投資してきたと述べた一方で、同社が「クジラ」として市場をかき回したとの一連の報道に対しては冷ややかな態度を示した。

ミスラ氏は「数週間で100億ドルをナスダック市場で投資しても、動くような市場ではないだろう」とし、「われわれはイルカですらなく、クジラ説は忘れてほしい」と語った。

# テクノロジー企業は反トラスト法の動きに対してロビー活動を積極化している



# 「大手ITが市場を独占」 米下院調査報告書の要旨（10月7日 日経新聞）

## 買収で支配拡大

開かれたインターネットは米国経済に大きな利益をもたらした。グーグル、フェイスブック、アップル、アマゾン・ドット・コムはIT4社は基盤インフラとして経済社会で重要な役割を持つ。一方、過去10年間でデジタル経済は非常に集中し独占されがちになった。4社は主要な流通チャネルを制御し、門番として機能している。10年後には世界の総経済生産高の30%を握る可能性がある。

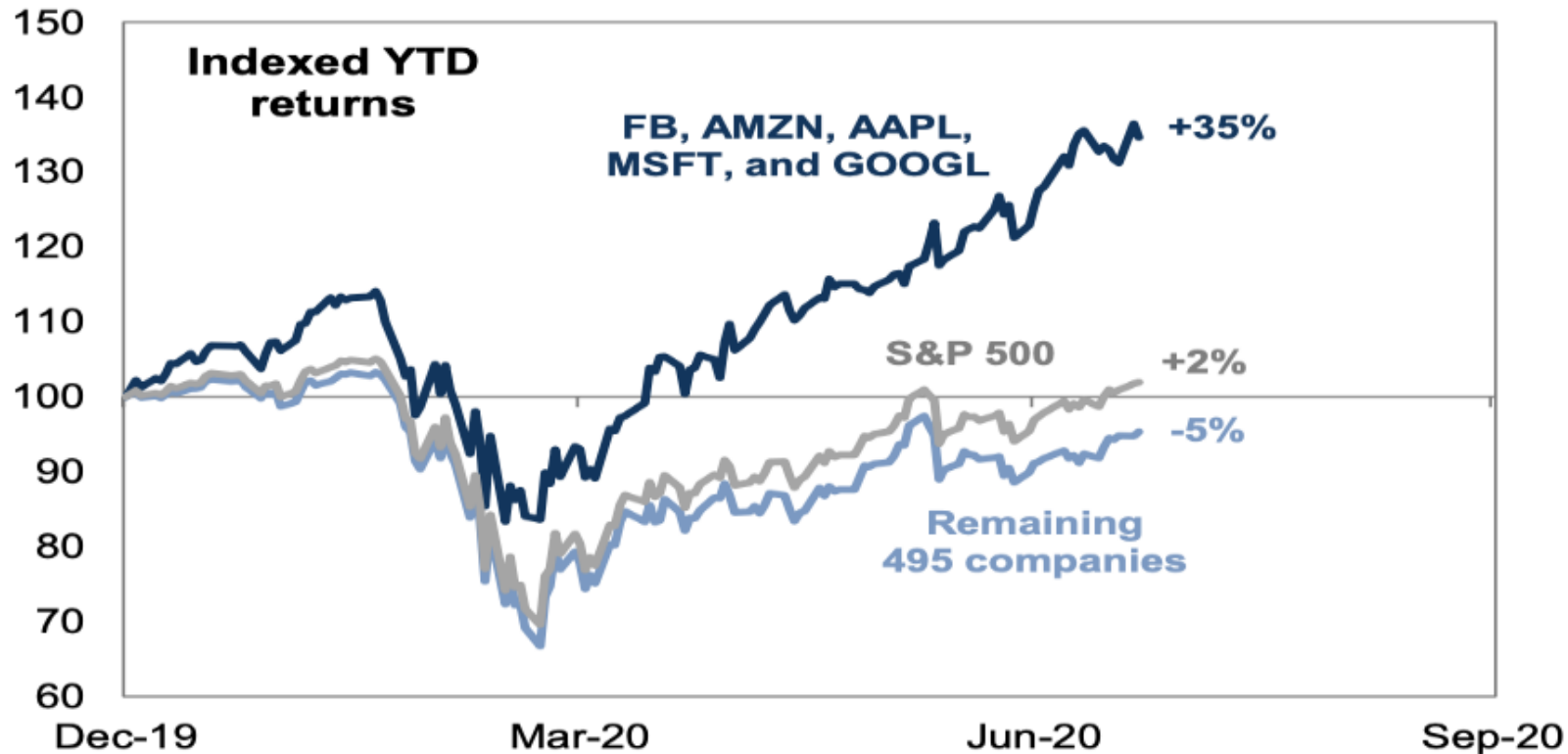
この重要な市場支配力は、大量の買収などに支えられている。4社は過去10年間で数百社を買収した。競争上の脅威をやわらげ、企業の支配を維持および拡大するために、明らかに初期や潜在的な競合他社の買収、中小企業への「キラー買収」を実行してきた。

デジタル市場における反競争的行為に対処し、強力な独占禁止法の執行を補完するために以下の提案を行う。

- 競争回復へ分割も
- 独禁法を強化

# 米国株は5銘柄の成績

**Exhibit 1: The five largest stocks have returned 35% YTD; the other 495 stocks have declined by 5%.**



Source: FactSet, Goldman Sachs Global Investment Research

出所：ゼロヘッジ



# S&P500の1%に過ぎない5銘柄が、時価総額では市場の20%を占めている

Chart 2: S&P500 now more concentrated in the 5 largest stocks than ever



Source: BofA Global Investment Strategy, Bloomberg

出所：ゼロヘッジ

**ハイテク5社はS&P500を大幅にアウトパフォームしている（2020年9月末時点）**

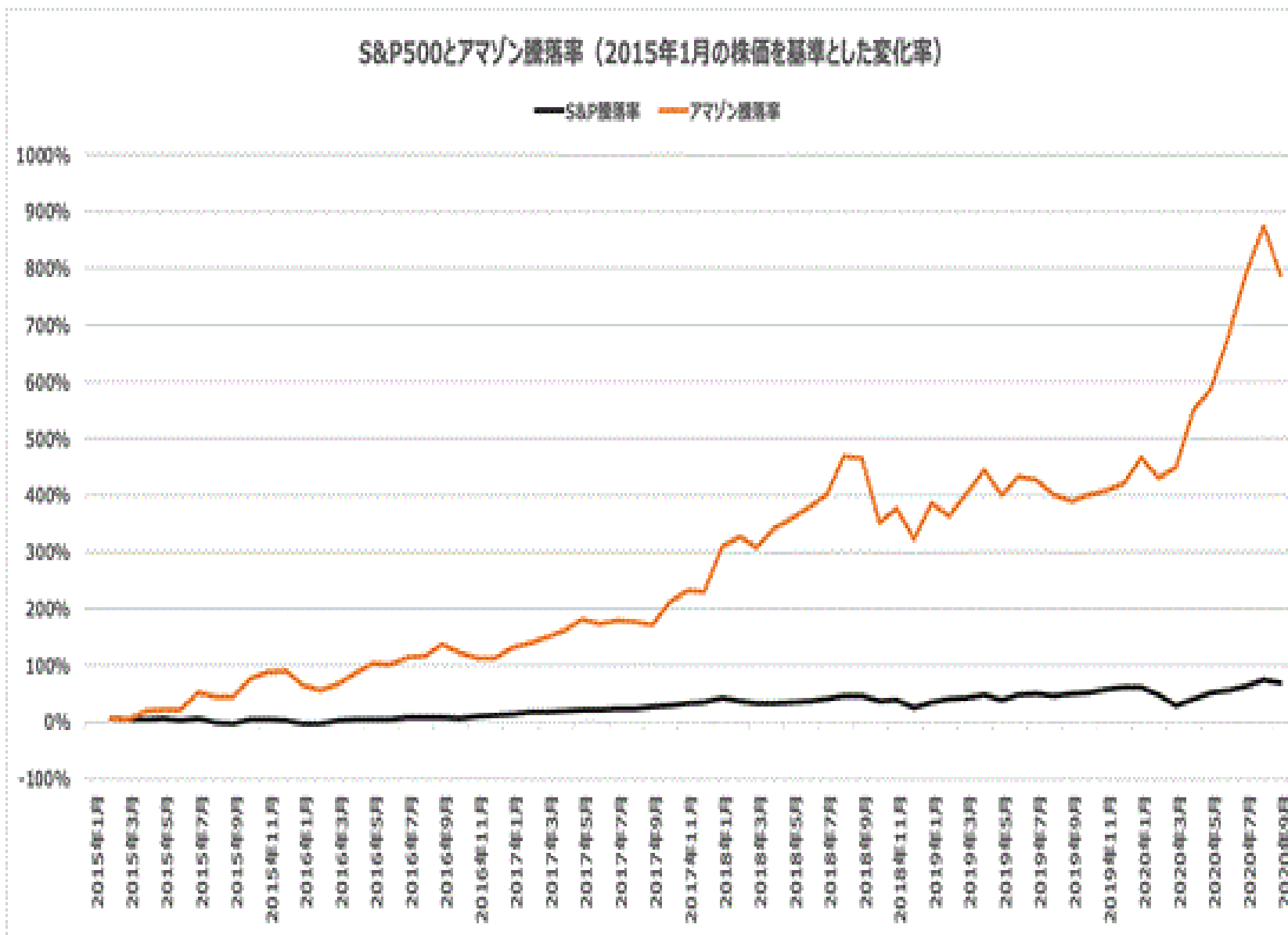
**以下は2015年からのS&P500とハイテク5社それぞれの騰落率を比較したものである。**

**9月末時点でS&P500は70%近く上昇しているが、いずれもそれがかすんでしまうようなパフォーマンスをたたき出している。**

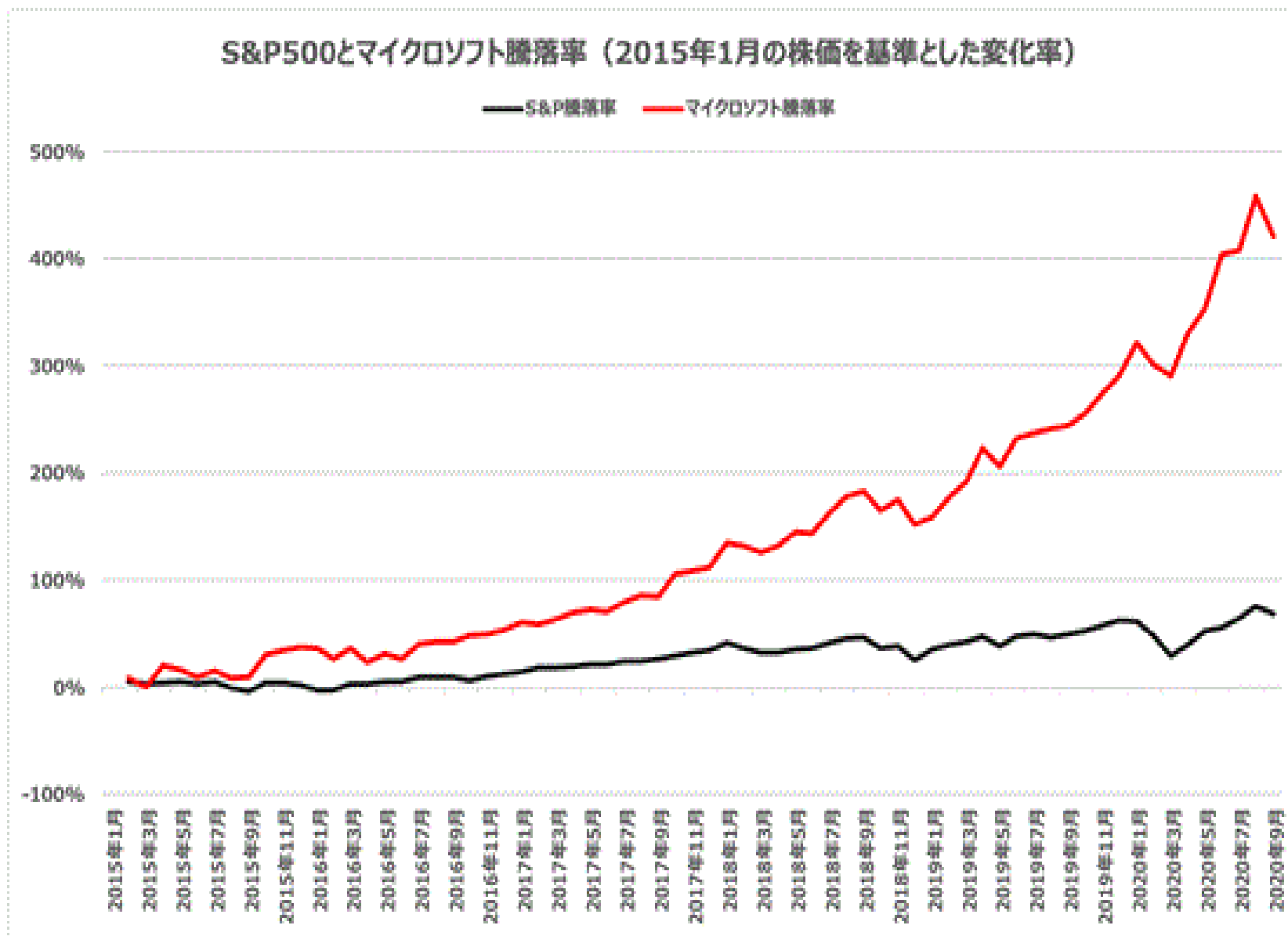
**アマゾンの株価は8倍、マイクロソフトは5倍と大幅に上昇。**

**なお、アップルは8月末の株式1株を4株に分割しており、このチャートでは便宜的に8月と9月の株価について分割後の株価を4倍したもので表していることをご承知おき頂きたい。**

**\* アップルは8月末に1:4の株式分割を実施**

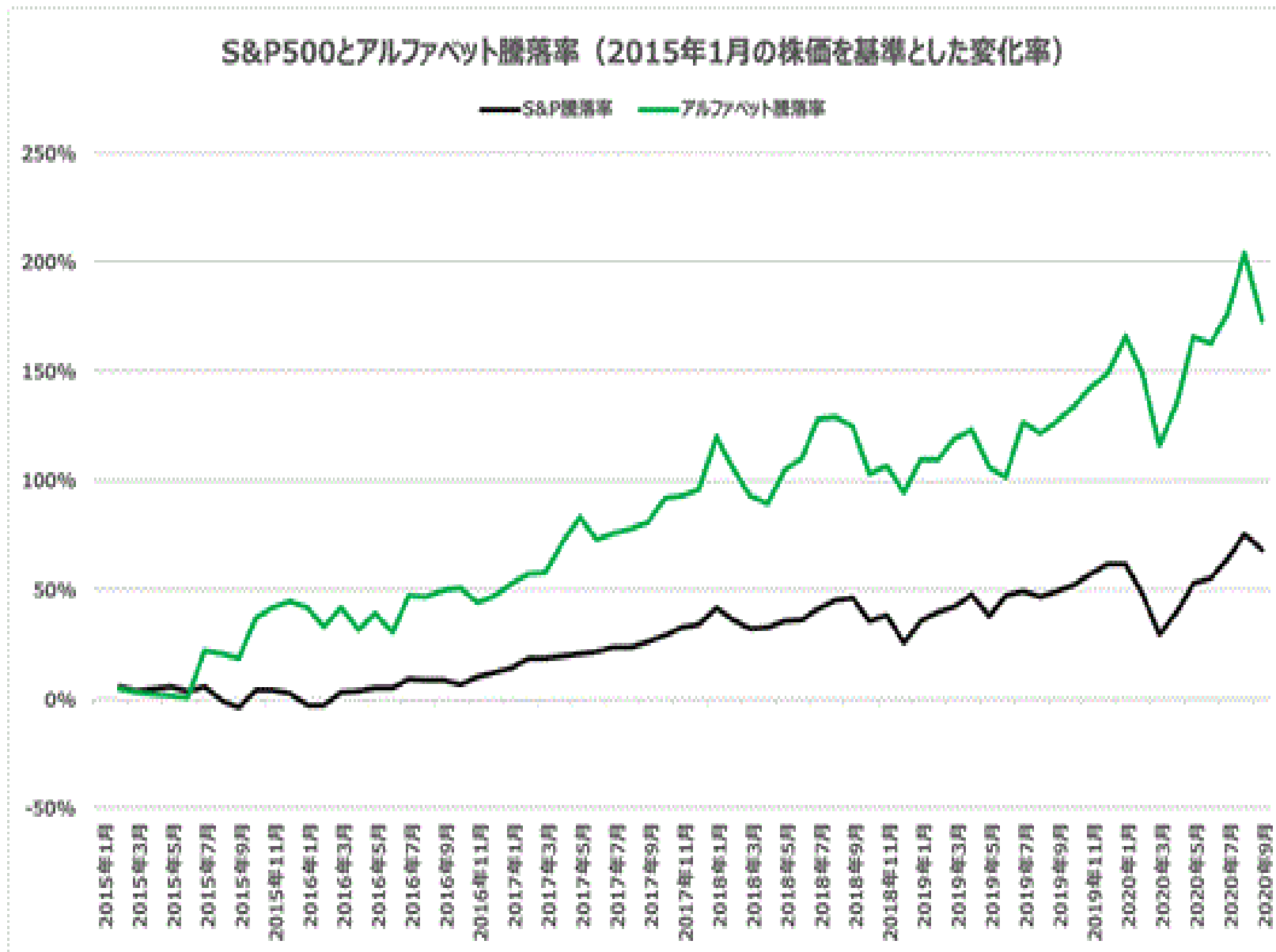


出所：筆者作成

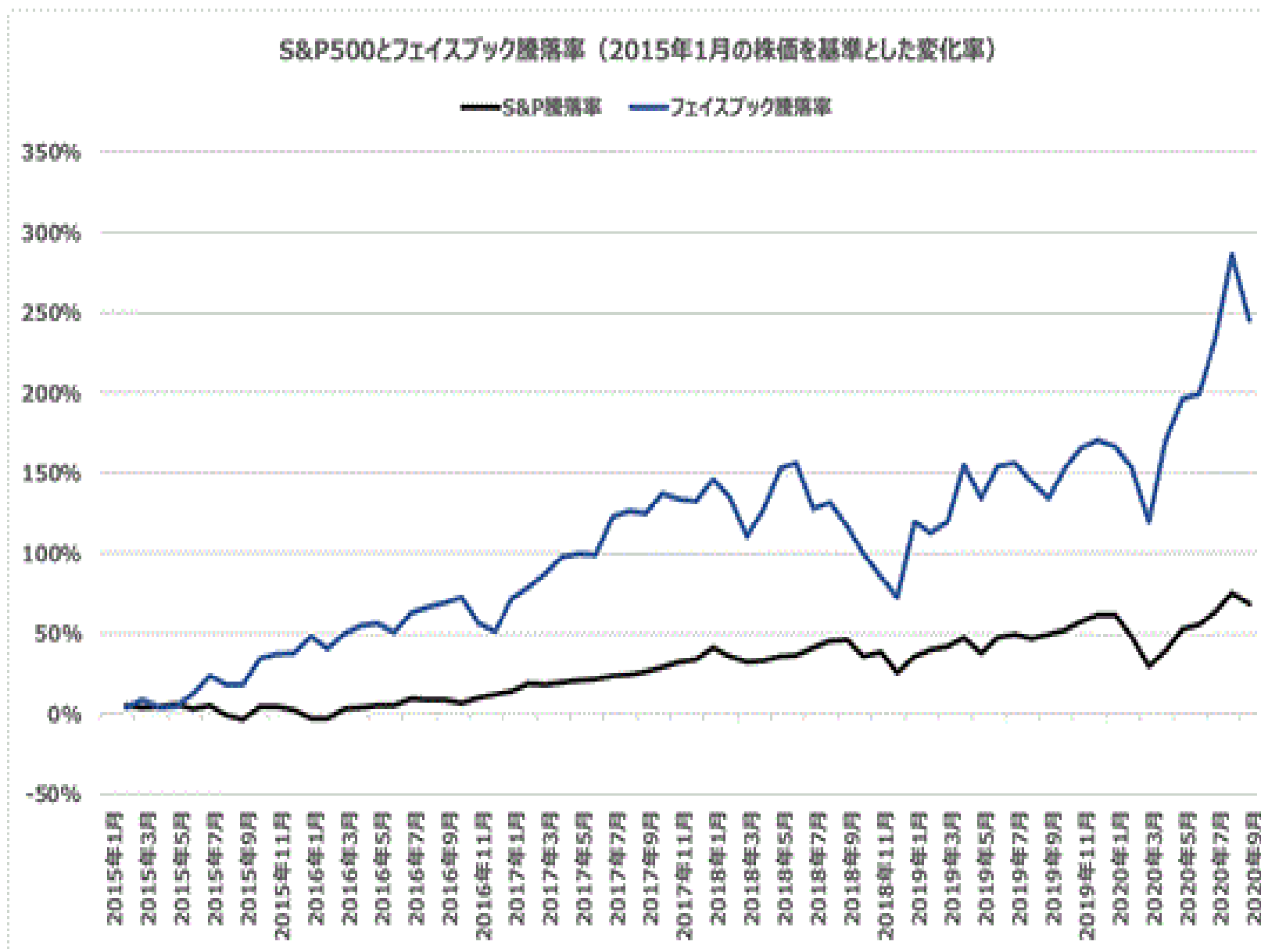


出所：筆者作成



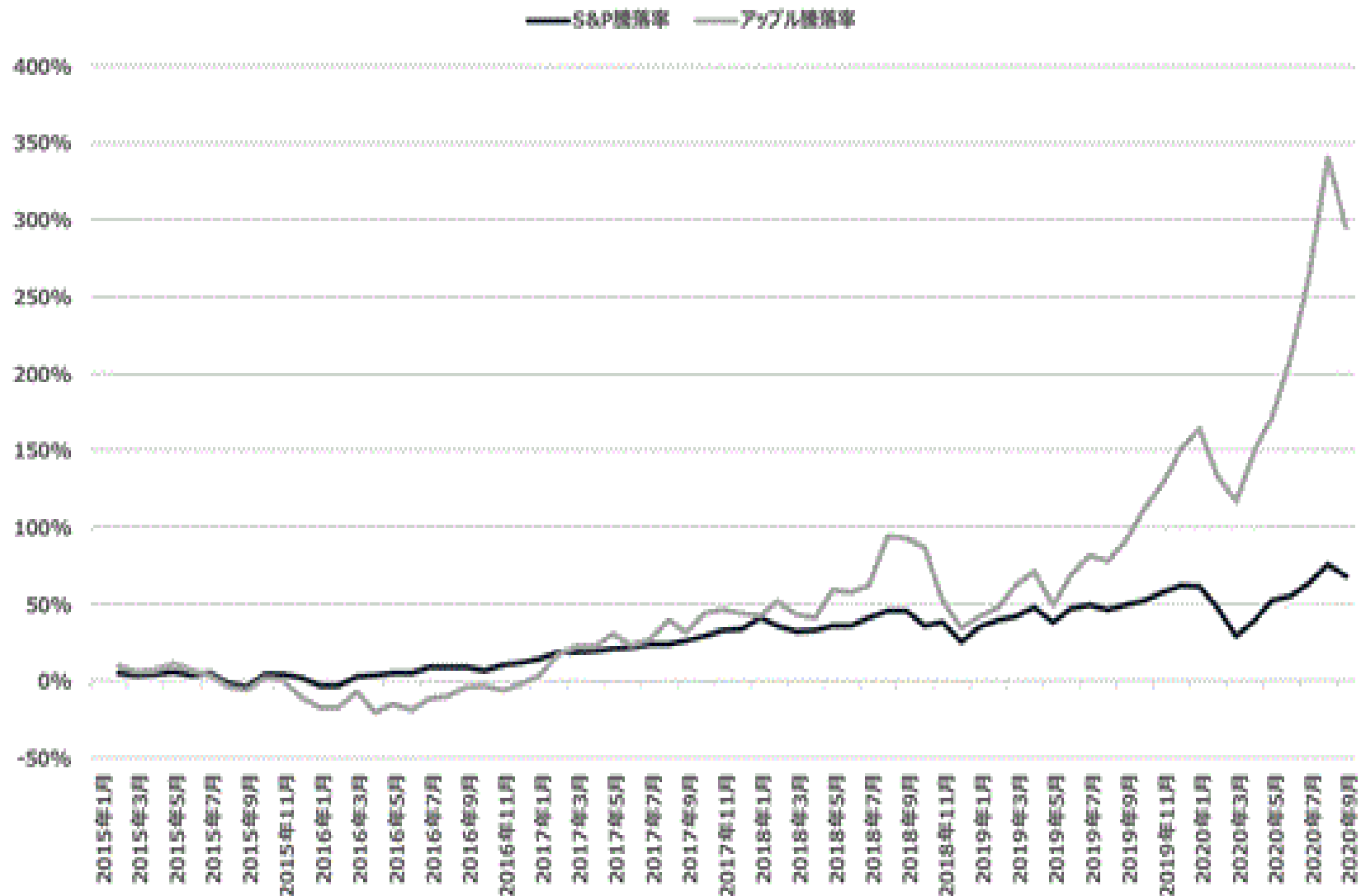


出所：筆者作成



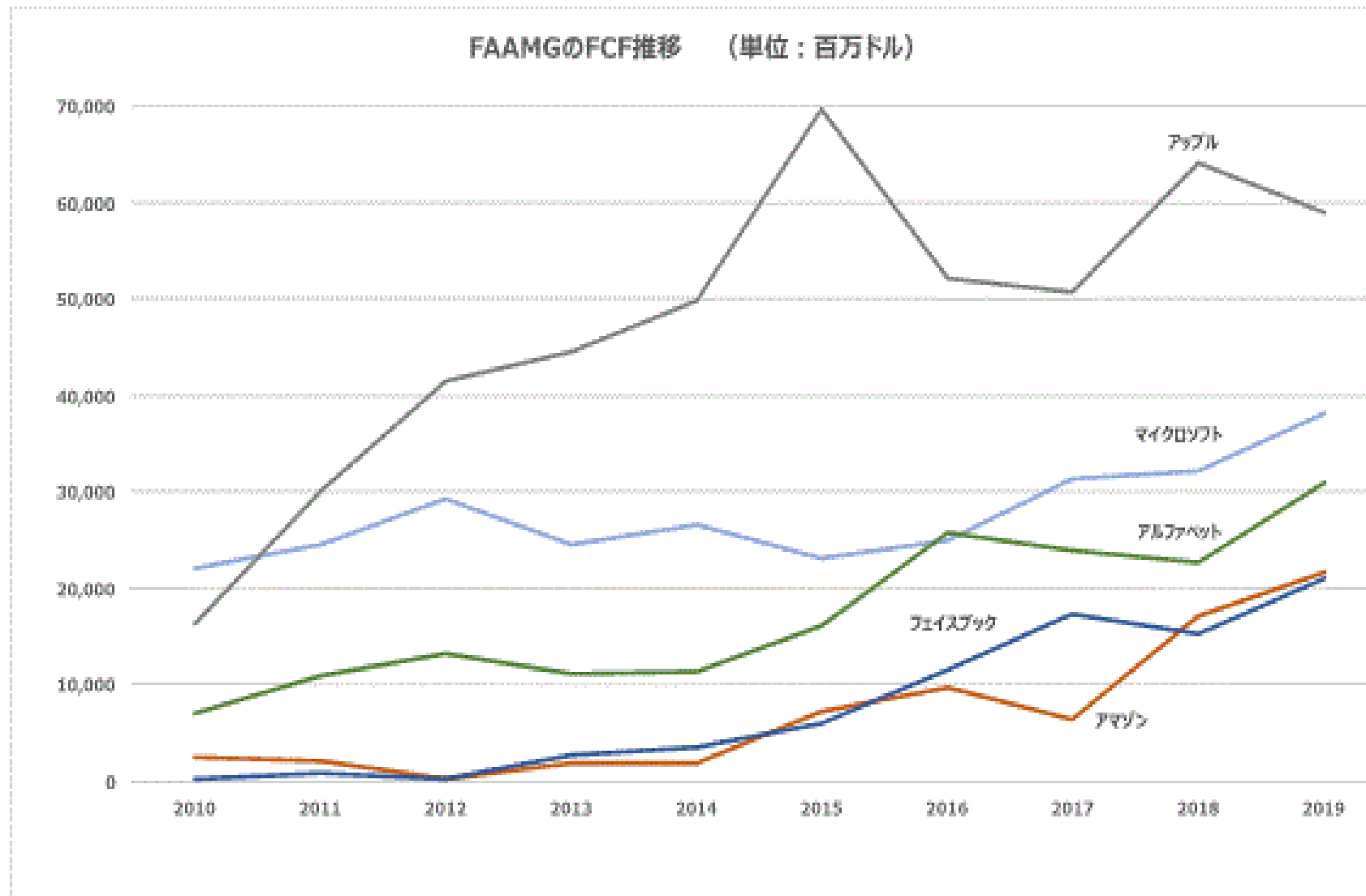
出所：筆者作成

### S&P500とアップル騰落率（2015年1月の株価を基準とした変化率）



出所：筆者作成

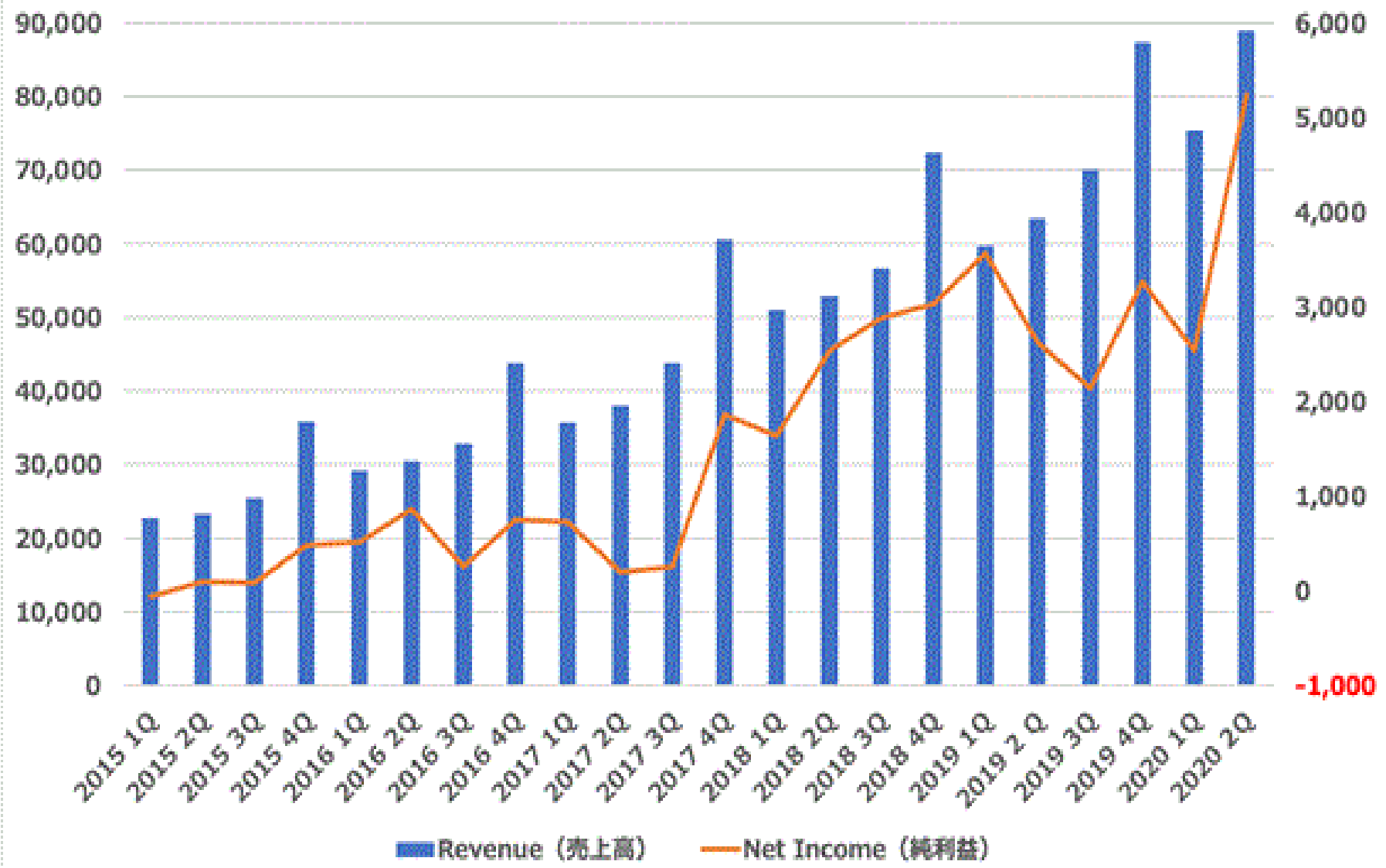
# ハイテク5社は潤沢なフリーキャッシュフロー（FCF）を持っている



出所：筆者作成



アマゾンの売上高と純利益の推移 (単位：百万ドル)



出所：筆者作成

## 『08年勝ち組クオンツ、コロナで復活 – 債券強気相場終了の救世主は為替』(10月7日 ブルームバーグ)

27年続いている同ファンドは一方向の強気相場に長く苦しんできたが、先物市場全体の激しい値動きに乗じる体系的なプログラムを活用し、新型コロナがもたらした大混乱で稼いでいる。

市場の異常な動きに着目、短期モメンタム投資とミーンリバージョン（平均回帰）戦略を採用しているのがこのファンドだ。

株安が進むたびに中央銀行は介入しバランスシートの規模を拡大せざるを得ず、今後インフレを引き起こす可能性があると予想されるだろう」と話した上で、長期債には全般的に、以前にはなかった下振れリスクがあると指摘した。

ニーダーホッファー氏は、トレンドフォロワーのクオンツとなる可能性のある新たな市場の一角を見いだしている。外国為替相場だ。何年もボラティリティーが抑えられているが、金融当局による前例のない規模の債券市場介入の副作用として全てが変わろうとしていると分析、大きな通貨トレンドがCTAの救世主になるだろうと期待している」

# マネー革命「1日で50億円失った男」(NHK) ビクター・ニーダホフアー (Victor Niederhoffer)

1998年に放映された  
“NHKスペシャル・マネー  
革命 第1回放送  
「1日で50億円失った  
男」”でビクターの名は日  
本で知られることになった。

番組の中でたった一つ  
残ったマンチェスター杯に  
因んで、Manchester  
Trading LLCを設立。  
運用の世界に再び咲いた。

ビクター・ニーダホフアー  
(Victor  
Niederhoffer)



マネー革命 「1日で50億円失った男」

184,409 回視聴・2016/07/22



997



62



共有



保存



<https://www.youtube.com/watch?v=1NetvTK21m8>

# マネー革命「1日で50億円失った男」

[https://www.youtube.com/watch?v=1NetvTK21m8&feature=emb\\_title](https://www.youtube.com/watch?v=1NetvTK21m8&feature=emb_title)



マネー革命「1日で50億円失った男」

184,409 回視聴・2016/07/22 997 62 共有 保存 ...



- 相場とは、げに恐ろしきものである。

- 米著名投資家ロイ・ニーダーホフアーの実兄であるビクター・ニーダーホフアーは一世を風靡した天才トレーダーである。ビクター・ニーダーホフアーは1982年から1990年までソロスのファンドに在籍したが、ソロスはビクター・ニーダーホフアーのことを「相場で勝ち続けながらも（ソロスの元を）自ら去った、唯一のファンドマネジャー」と高く評価していた。

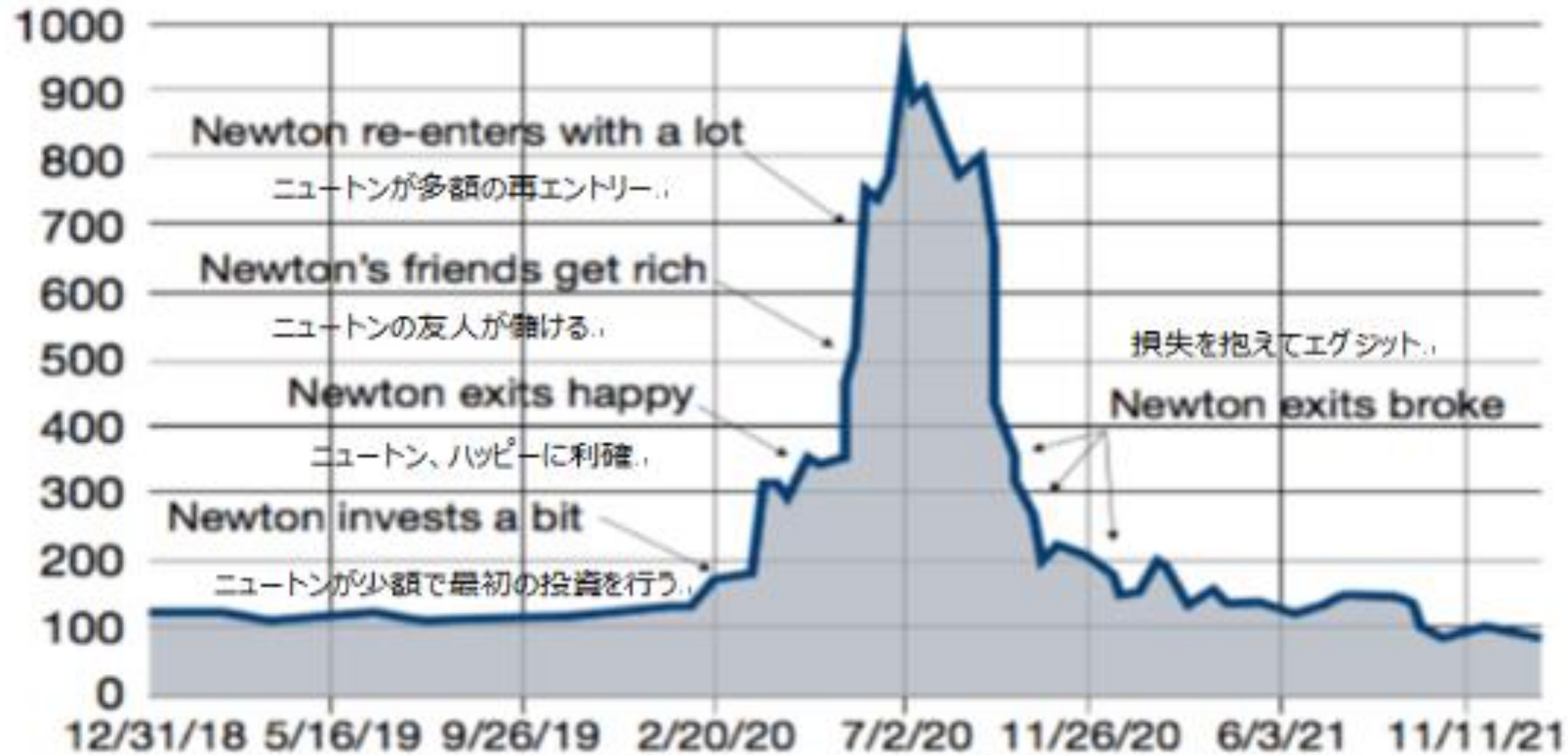
- しかし、天才も失敗する・・・。天才投機家ビクター・ニーダーホフアーが、「アジア危機」で破産した時の様子は、NHKの『マネー革命』で取り上げられた。弟のロイ・ニーダーホフアーも出演している。

●必見！マネー革命「1日で50億円失った男」

# ニュートンの南海泡沫事件でのポジション

## South Sea Stock

December 1718–December 1721



Sources: Marc Faber, Jeremy Grantham, Sir Isaac Newton

2020年10月 5日

**第248回「チップが尽きたらゲームは終わり：伝説の投資家ポール・チューダー・ジョーンズの投資ルール」石原順**

リスクを第一に考える投資家は、強欲の餌食になる可能性が低い。私たちは、投資の潜在的なリターンを重視し、それを達成するために取ったリスクを余計なものとして扱う傾向がある。

大幅なドロウダウンを防ぐための管理とは、ダウンサイドの大部分を捕捉することを防ぐために、アップサイドの一部を放棄することを意味する。ポートフォリオはいつか元の状態に戻るかもしれないが、その間に失った貴重な時間は決して取り戻すことはできない。

**「英雄を気取ってはいけない。自己中心的な考え方をしてはいけない。常に自分自身とその能力を疑ってみる。自分はうまいんだなどと思っははいけない。そう思った瞬間、破滅が待っている」**

**ポール・チューダー・ジョーンズ**